

2025年度 環境デザイン学科 卒業研究発表会 プログラム

単独発表の場合：発表6分、質疑応答3分、合計9分 共同発表の場合：発表9分、質疑応答4分、合計13分

2026年2月7日(土) W5-401 10:00発表会の説明

加藤ゼミ

開始時刻	発表番号	タイトル	種別
10:02	1	複合機能を持つ地域拠点における世代間の利用実態比較——ソーネおおぞねの行動観察を通じて—	論文
10:15	2	ワークショップに基づく運営コンセプトと空間的要件の共有プロセス 児童養護施設のグループケア導入を事例として	論文
10:28	3	居場所性と心理的自立の観点からみる生活困窮者支援における空間の機能と必要性	論文

10:37~10:55 入替・休憩

長谷川ゼミ

開始時刻	発表番号	タイトル	種別
10:55	4	愛知県における鉄道高架下空間の活用実態と地域活性化に関する研究 —名古屋市の事例中心に—	論文
11:08	5	駅前空間の立体的再編による交通円滑化に関する研究 —大森・金城学院前駅におけるベデストリアンデッキの導入と交流拠点の創出—	論文
11:21	6	愛知県にある文化財の保全策	論文
11:30	7	低未利用地を活用した駅前空間再構成の提案～前後駅周辺～	論文
11:39	8	徳川町周辺における景観まちづくりの必要性とその計画	論文

11:52~12:50 入替・昼食休憩

朴ゼミ

開始時刻	発表番号	タイトル	種別
12:50	9	デジタル画像相関法(DIC)を用いた建築構造教育用ツールの開発に関する研究 (弾塑性領域における模擬鉄筋内部の応力分布に関する比較・検討)	論文
13:03	10	竹炭入りモルタルの材料開発の実験的研究 (花粉吸着性の定量的評価法と粒度別高炉スラグ微粉末による強度改善)	論文
13:16	11	太陽光パネルに由来する廃ガラスのコンクリート材料としての利用に関する実験的研究 (コンクリートの長期性状および曝露性状)	論文
13:25	12	太陽光パネルに由来する廃ガラスのコンクリート材料としての利用に関する実験的研究 (粉末度が異なるガラス微粉末使用のモルタル基本特性)	論文
13:34	13	太陽光パネルに由来する廃ガラスのコンクリート材料としての利用に関する実験的研究 (アルカリシリカ反応発生機構の分析)	論文
13:43	14	歴史的構造物（RC）の保存に向けた調査研究 (玉の火薬庫の歴史的背景と現状調査) その1	論文
13:52	15	歴史的構造物（RC）の保存に向けた調査研究 (玉の火薬庫の歴史的背景と現状調査) その2	論文
14:01	16	太陽光パネルに由来する廃ガラスのコンクリート材料としての利用に関する実験的研究 (コンクリート溶出物分析および固定化効果)	論文

14:10~14:25 入替・休憩

間瀬ゼミ・弓立ゼミ

開始時刻	発表番号	タイトル	種別
14:25	17	小学校の改修におけるオープンスペース導入に関する研究	論文
14:38	18	常滑市における地域固有のデザインと景観特性を踏まえた観光コースの策定に関する研究	論文
14:51	19	夢を実現する場としての万博建築に関する研究	論文
15:04	20	幼稚園・保育園・認定こども園における中間領域に関する研究	論文
15:17	21	尾張旭市におけるカフェ・喫茶店の空間特性と持続性に関する研究	論文
15:26	22	インテリア空間における壁面形状の研究	論文

15:35~15:40 総評・連絡

2025年度 環境デザイン学科 卒業研究発表会 プログラム

単独発表の場合：発表6分、質疑応答3分、合計9分 共同発表の場合：発表9分、質疑応答4分、合計13分

2026年2月8日(日) W5-401 9:30発表会の説明

加藤ゼミ・間瀬ゼミ・長谷川ゼミ

開始時刻	発表番号	タイトル	種別
9:32	23	日常に溶け込む福祉～ケアがにじむ公園～	設計
9:41	24	宿泊兼避難施設 自然に溶け込む建築	設計
9:50	25	新旧街風 宿場町に住む。	設計
9:59	26	運河とのつながり 桑名宿再生計画	設計
10:08	27	ニュータウンを豊かに閉じていく	設計
10:17	28	農園でつなぐ地域の風景	設計
10:26	29	Agri Fun farm－安城産業文化公園デンパークと周辺地域の活性化計画－	設計
10:35	30	風の旅－小牧第2グリーン滑走路－	設計
10:44	31	常滑陶芸文化の拠点～滞在型文化施設の提案～	設計
10:53	32	小牧原駅における高架活用提案～日常を包み込む高架空間～	設計

11:02～11:15 入替・休憩

白川ゼミ

開始時刻	発表番号	タイトル	種別
11:15	34	富加町で豊かに暮らす戸建て住宅群	設計
11:24	35	地域にひろげる子育ての日常	設計
11:33	36	保護犬と高齢者をつなぐ共生住宅	設計
11:42	37	仮設コミュニティによる記憶の継承	設計
11:51	38	要介護認定者と地域交流	設計
12:00	39	つながりをほどき、結びなおす川辺空間	設計
12:09	40	繋がりのある最期の暮らし	設計
12:18	41	養老山麓に残す痕跡、生まれる共鳴	設計

12:27～13:45 入替・昼食休憩

弓立ゼミ

開始時刻	発表番号	タイトル	種別
13:45	43	まちの縁側～地域とゆるやかにつながる、守山児童館・福祉会館～	設計
13:54	44	舞台と和紙でつなぐまち～地域資源を活かした回遊型ギャラリーの提案～	設計
14:03	45	小原和紙の地域ブランドの創出～和紙がつなぐまちの未来～	制作
14:12	46	五感がひらく森計画	設計
14:21	47	西浦バームビーチの再開発計画	設計
14:30	48	ふれる・ながれる・つながる途～犬山木曽川遊歩道の再生計画～	設計
14:39	49	朝市がつなぐ復興への道	設計
14:48	50	駅のまえ、ひとときの居場所～豊橋駅西口ロータリーの計画～	設計
14:53	51	可変する住まい～南海トラフ巨大地震に備えた移転計画～	設計
15:02	52	日常のダダ～意味を壊す、かたちをつくる～	設計

15:11～15:20 総評・連絡

2025年度 環境デザイン学科 卒業研究発表会 プログラム

単独発表の場合：発表6分、質疑応答3分、合計9分 共同発表の場合：発表9分、質疑応答4分、合計13分

2026年2月8日(日) W2-305 10:00発表会の説明

伊藤ゼミ

開始時刻	発表番号	タイトル	種別
10:02	53	ローリータ服が最も美しく見えるピラミッド型のパニエはどのようなものか—素材による比較—	論文
10:15	54	パニエの素材の違いはシルエットにどのような影響を与えるのか—純曲げ特性による比較—	論文
10:24	55	子ども服におけるフリルデザインとは—安全性・動きやすさ・可愛らしさの調和—	論文
10:37	56	コレクションブランドの服装はなぜ華やかなのか—2025年コレクションブランドの色彩から見る特徴—	論文
10:50	57	民族衣装を現代に生かすには—ポーランドの民族衣装を題材に—	論文

10:59～11:15 入替・休憩

長嶋ゼミ

開始時刻	発表番号	タイトル	種別
11:15	58	有松絞りによるリメイク	制作
11:24	59	有松絞りによる制作—春の和歌をテーマに—	制作
11:33	60	小豆種皮から抽出した色素による羊毛の染色	論文
11:42	61	衣類に付着したベットの毛を効率的に除去する洗濯条件の検討	論文
11:51	62	ピワの葉から抽出した色素を用いた染色	論文
12:00	63	ファンデーション汚れに対する洗浄効果—時間経過の影響—	論文
12:09	64	赤および白ワインバニスから抽出した色素による麻の染色	論文
12:18	65	コーヒークラウンズから抽出した色素を用いた染色	論文

12:27～13:30 入替・昼食休憩

平林ゼミ

開始時刻	発表番号	タイトル	種別
13:30	66	リクルートスーツの動作快適性—ストレッチスーツとの比較—	論文
13:43	67	ウールによる肌トラブルについて—アンケート調査、及び「ちくちく感」の官能評価方法の検討—	論文
13:56	68	ラグジュアリー空間に提供される香りが空間のイメージに及ぼす影響	論文
14:05	69	ファッションと香りの調和—ファッションスタイルと配色イメージによる検討—	論文
14:18	70	衣服の取扱い表示に関する実態—アンケート調査から—	論文

14:27～14:35 総評・連絡